

私のシミ治療：多波長ピコ秒レーザーによるアプローチ. 第 44 回日本美容皮膚科学会総会・学術集会, 仙台, 2026.8
(学会 シンポジウム講演)

PicoWayで叶えるfacial rejuvenation～3波長を駆使して～. レーザーアカデミー in 千葉, 浦安, 2026.6 (講演)

ピコ秒レーザーの基礎と実践～美容領域でPicoWayを使いこなす～. 第 69 回日本形成外科学会総会・学術集会, 徳島, 2026.4 (学会 ハンズオンセミナー講師)

波長とフルエンスから組み立てるシミ・くすみの短パルス (ナノ秒・ピコ秒) レーザー治療. 第 42 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会, 広島, 2026.4 (学会 シンポジウム講演)

PicoWayの2波長 (730nm/1064nm) を併用した新しいskin rejuvenation. CANDELA Xmas Users Meeting 2025～王道を極め、革新を導く～, 東京, 2025.12 (講演)

PicoWayのフルフェイストリートメント～M SKINメソッド～. CANDELA Xmas Users Meeting 2025～王道を極め、革新を導く～ Hands On, 東京, 2025.12 (講師)

PicoWayの2波長 (730nm/1064nm) を併用した新しいskin rejuvenation. エキスパートから学ぶスキルアップセミナー in 名古屋, 名古屋, 2025.9 (講演)

ピコ秒レーザーのシミ治療～波長とフルエンスの観点から～. 第 48 回日本美容外科学会総会・第154回学術集会, 東京, 2025.9 (学会 シンポジウム講演)

ピコ秒レーザーのシミ治療～波長とフルエンスの観点から～. 第 68 回日本形成外科学会総会・学術集会, 東京, 2025.4 (学会 シンポジウム・教育セミナー講演)

PicoWayの2波長 (730nm/1064nm) を併用した新しいskin rejuvenation. 第 68 回日本形成外科学会総会・学術集会, 東京, 2025.4 (学会 ランチョンセミナー講演)

PicoWay (730nm+1064nm) によるフルフェイストリートメント～私がPicoWayを選んだ理由～. Syneron Candela Pico Academy in Saitama, 大宮, 2025.3 (講演)

PicoWay (730nm+1064nm) によるフルフェイストリートメント～私がPicoWayを選んだ理由～. シネロンキャンデラアカデミー in 大阪, 大阪, 2025.2 (講演)

PicoWayの2波長 (730nm/1064nm) を併用したnon fractional laserによるskin rejuvenation. 第 42 回日本美容皮膚科学会, 名古屋, 2024.8 (学会 ランチョンセミナー講演)

PicoWay (730nm+1064nm) によるskin rejuvenation. 癬痕・ケロイド治療ジャーナル. No18 15-17, 2024.7 (論文)

低フルエンス照射による色素性疾患の治療：ナノ秒アレキサンドライトレーザー. 日本レーザー医学会誌. 45 巻 2 号181-187, 2024. 5 (論文)

PicoWay (730nm+1064nm) によるフルフェイストリートメント～私がPicoWayを選んだ理由～. シネロンキャンデラ京都セミナー, 京都, 2024. 5 (講演)

PicoWay (730nm+1064nm) によるフルフェイストリートメント～私がPicoWayを選んだ理由～. シネロンキャンデラレーザーアカデミー, 銀座, 2024. 3 (講演)

とことん, レーザー治療ーシミ・くすみを診るー 730nm/1064nmピコ秒レーザー治療. 美容皮膚医学BEAUTY 53号 Vol. 7 No. 1 65-71, 2024. 1 (医学雑誌)

PicoWay (730nm+1064nm) によるフルフェイストリートメント～私がPicoWayを選んだ理由～. シネロンキャンデラオンラインセミナー, 2023. 11 (講演)

PicoWay (730nm+1064nm) によるskin rejuvenation. 第 41 回日本臨床皮膚外科学会, 第 18 回瘢痕・ケロイド治療研究会, 宮古島, 2023. 5 (学会 ランチョンセミナー講演)

肝斑に対する (ナノ秒発振) Qスイッチアレキサンドライトレーザー治療の臨床. PEPARS No. 175 30-37, 2021. 7 (医学雑誌)

Problems with Laser Treatment of Melasma and How to Approach Them. The 6th Asian Congress of Dermatologic Surgery, Kagoshima, 2021.5 (学会 シンポジウム講演)

にきび治療とスキンケア. ラロッシュポゼWEBセミナー, 2020.9 (講演)

低フルエンス照射による色素性疾患の治療：Qスイッチアレキサンドライトレーザー. 第40回日本レーザー医学会総会, 静岡, 2019.10 (学会 シンポジウム講演)

ケミカルピーリング 私の工夫 肝斑・シミ. 美容皮膚医学 BEAUTY 6号 Vol.2 No.5 54-59, 2019.5 (医学雑誌)

肝斑に対する低フルエンス照射：755nmナノ秒レーザー. 日本レーザー医学会誌 39 巻 2 号126-130, 2018.8 (論文)

Qスイッチアレキサンドライトレーザーによる色素性疾患の治療. シネロンキャンデラレーザーアカデミー, 福岡, 2018.6 (講演)

Qスイッチアレキサンドライトレーザーによる色素性疾患の治療 ～青あざ、シミ、脂漏性角化症からデフォーカス照射によるリジュビネーションまで～. シネロンキャンデラレーザーアカデミー, 東京, 2017.10 (講演)

Qスイッチアレキサンドライトレーザーによる色素性疾患の治療. 何でも聞ける臨床セミナー, 札幌, 2017.7 (講演)

Qスイッチアレキサンドライトレーザーによる色素性疾患の治療 ～青あざ、シミ、脂漏性角化症からデフォーカス照射によるリジュビネーションまで～. シネロンキャンデラレーザーアカデミー, 千葉, 2017.3 (講演)

短波長を含むIPLによる光老化皮膚に対する治療効果の検討. 第 56 回日本形成外科学会総会, 東京, 2013.4 (学会発表)

母斑・血管腫のレーザー治療. 第 1 回形成外科城東フォーラム, 東京, 2012.6 (研究会発表)

フラクショナルレーザー (Lux1540・XDハンドピース) の治療効果の検討. 第 55 回日本形成外科学会総会, 東京, 2012.4 (学会発表)

フラクショナルレーザー (Lux1540・XDハンドピース) の瘢痕に対する治療効果の検討. 第 30 回日本臨床皮膚外科学会, ハノイ, 2012.2 (学会発表)

莓状血管腫に対する早期レーザー治療の効果と合併症の検討ー短パルス幅色素レーザーと皮膚冷却装置付き長パルス幅色素レーザーの比較検討ー. 東京女子医科大学雑誌 第 81 巻 41ー45, 2011.8 (論文)

フラクショナルレーザー (Lux1540TM) のXDハンドピースと従来型ハンドピースの比較検討. 第 54 回日本形成外科学会総会, 徳島, 2011.4 (学会発表)

莓状血管腫のレーザー治療－従来型色素レーザーと皮膚冷却装置付き長パルス幅色素レーザーの比較検討－. 第 53 回日本形成外科学会総会, 石川, 2010.4 (学会発表)

フラクショナルレーザーによるリサーフェイシングの治療経験. 第 33 回日本美容皮膚科学会, 新潟, 2009.8 (学会発表)

フラクショナルレーザーによるリサーフェイシングの治療経験. 第 29 回日本レーザー医学会, 東京, 2008.10 (学会発表)

atrophic dermatofibroma の 1 例. 日本皮膚科学会東京支部会, 東京, 2005.7 (学会発表)

外陰部に単発した若年性黄色肉芽腫の 1 例. 日本皮膚科学会東京支部会, 東京, 2005.1 (学会発表)

人工真皮と凍結保存同種培養真皮線維芽細胞の併用－第 2 報 術後植皮片質感の客観的評価－. 日本形成外科学会誌 第 19 巻 172－175, 1999.3 (論文)

MRSA化膿性肘関節炎を併発した小児熱傷の 1 例. 第 7 回日本熱傷学会関東地方会, 東京, 1999.2 (学会発表)

移植後皮弁の色調に関する検討. 第 16 回日本頭蓋顎顔面外科学会, 北海道, 1998.11 (学会発表)

人工真皮移植症例の知覚に関する検討．第 311 回東京女子医科大学学会，東京，1998. 7（学会発表）

人工真皮と凍結保存同種培養真皮線維芽細胞の併用－第 2 報
術後植皮片質感の客観的評価．第 42 回日本形成外科学会総会，京都，1998. 4（学会発表）

人工真皮移植症例の知覚に関する検討（第 1 報）．日本形成外科学会誌 第 17 巻 623－629，1997. 10（論文）

人工真皮移植症例の知覚に関する検討（第 1 報）．第 40 回日本形成外科学会総会，宮崎，1997. 4（学会発表）